

蔵前工業会大阪支部 2022 年度事業報告

一般社団法人蔵前工業会大阪支部は、蔵前工業会関西地区活動の要としての役割を認識し、支部事業並びに関西5支部の共同事業を企画した。しかし、2022 年度前半は新型コロナウイルス感染拡大防止のために集会・会合・イベント等の自粛もあり、主要事業では行事を縮小する結果となった。

「支部役員会・総会」は Web を利用して事前のメールで議決を纏め、Web での賛否の結果を報告する事で開催した。2022 年度は Zoom 会議を中心に他支部総会や講演会へ、オンライン参加して交流を続けた。会員を主対象とする「関西蔵前午餐会」、「関西蔵前懇話会」、「俳句会」の交流活動は、社会状況に合わせて参加人数を考慮して「西日本センター」での開催を適時に増やし、実参加での会員の交流を深めるように運営した。

1. 本部関係：本部総会(6月9日)にて、本部監事に大阪支部三宅稔男会計幹事が就任した。

2. 支部事業

- (1)大阪支部 2022 年度総会：2022 年 5 月 28 日(土)(13:00~16:00) Zoom 会議、参加者:33名、
- ① 2021年度の事業報告(大軒幹事長)、収支決算報告(三宅会計幹事)、監査報告(斎藤監事)がなされた。
＜審議事項＞
 - ② 2022 年度事業計画案(大軒幹事長)、2022 年度予算案(三宅会計幹事)が審議され、事前議決権行使:12 名、Zoom 画面からの投票 15 名となり、全員の賛成(27名)で承認された。
 - ③ 2021 年度で支部役員を退任される方(3名;一戸氏、松本氏、熊谷氏)への支部役員貢献賞の贈呈について、三宅支部長より提案があり、満場一致で了解された。
＜講演会＞「関西地区の社寺林の衰退と土壌の劣化」 講師;伊藤和男大阪支部副支部長
- (2) 大阪支部役員会：・第1回(4月2日);参加者 17 名
支部総会 5 月 28 日の日程及び議案を纏め、新幹事候補に平野氏が推薦された。
・第2回(7月9日); Zoom 参加 16 名、
2022 年度本部総会報告及び、第 35 回関西蔵前講演会の報告がなされた。
・第3回(10月30日); Zoom 参加 17名、大阪支部役員の増強の方策について、団体での個人情報取扱が変わってきた中で、東工大との情報共有を進めて、卒業後の連絡網等について議論した。
・第4回(2023年1月28日) Zoom 参加 17 名、2023 年度総会の日程を 2023 年 5 月 27 日に決定した。
以上 4 回を開催し、支部活動、並びに広域活動の行事報告、行事計画の紹介・審議・決定を行った。
- (3) 関西5支部ホームページをコロナ禍で会員への連絡等に活用し、蔵前ジャーナル投稿等を通じて、広報活動に努めより多くの会員が諸活動に参加しやすいよう働きかけた。
- (4) 他支部主催の行事(Zoom 利用オンライン)への参加により近隣支部との交流をはかった;
・京滋支部総会・見学会(6月11日)、和歌山県支部総会・講演会(7月23日)、岡山県支部総会・講演会(9月3日)に実参加し、徳島県支部総会・講演会(10月29日)へ Zoom で参加した。

3. 関西5支部広域事業

- (1) 第 35 回 関西蔵前講演会: 4 月 23 日(土)中央電気倶楽部を会場とする実参加と、Zoom ウェビナーを使用したハイブリッド方式にて開催し、140 名の参加登録があったが、地元関西地区の参加は低調であった。
- (2) 関西蔵前午餐会：4 月以降は毎月開催してきた。
- (3) くらりか関西:6 月以降の理科授業・理科実験教室をコロナ禍に対応して人数を減らして行い、大阪市・茨木市での理科特別授業を8教室に参加して、感染防止に即した環境で 38 教室を開催した。また西宮市の「ふしぎ理科教室」を 10 年間(120 教室)開催したことに対して、西宮市市長より感謝状を授与された。
- (4) 関西蔵前懇話会：会員又はゲストから話題提供を受け、懇談・情報交換・人脈形成・親睦を目的に本年度は4回(6月、9月、11月、2月)を西日本センターと Zoom 参加により開催した。
- (5) その他同好会行事として：・ゴルフ会、・俳句会、・テニス会等が開催された

以上